春は火災のシーズン

早い通報　少ない損害

春とともにまた火災のシーズンがやつてきました。そこで全国春の火災予防週間も去る二月二十八日から三月十三日まで実施されています。火災は毎年一月から四月までの春の季節が一番多く、特に雪国では冬囲いや、積雪による避難口の封鎖などのため死傷者も多く出ています。

大館市における昨年の火災統計をのぞいてみますと、発生は五一件、焼失戸数六六（内住家三六）で、その損害見積額は三千九百万円を越えるありさまです。この統計から月別の発生状況をみますと、四月は最高で九件、次いで三月の七件と年中の一、二位をこの季節で占め、損害額でも四割近い額を示しています。

このように、一寸の不注意から大切な財産を灰にしているわけですが、本年は更に昨年以上の多発が予想されています。既に本年の一―二月の火災の発生件数は七件に及び昨年同期との比較では実に三倍半となつています。

そこで市消防署では、声を大にして次のことがらを呼びかけ、徹底した注意と、協力をのぞんでいます。

▽火事は最初の一分間が大切です。自分で消す、消し切れないときは近所に手伝つてもらう、それでも駄目なときにはじめて消防へ頼むといつた習慣は絶対にやめること。火事になつたら先ず第一に消防へ連絡する手配をしてからできるだけ消火に努める。最寄の電話で“火事”と云えば即時専用電話で連絡できる仕組になつています。

▽炬燵をかけ放しての一寸の外出もさけること。

▽乾燥期でストーブ煙突の飛火による火事が多い。破損のものは勿論使用をやめ掃除は常に行うこと。

▽融雪とともに道路が悪化し、消防活動を大きく阻害するので次の事がらを行つて下さい

▽自宅前の道路や水路、消火栓、貯水槽、池などは勿論附近の雪消しをして下さい 雪割をしたものは、消防活動に支障のない場所へ排除すること。

▽冬囲いは、火災の延焼をほしいままにするのと、避難口をふさいでいるので、死傷の原因となるから、できるだけ早くとり除くこと。

消防署では特殊予防査察を行つていますが、皆さん方も近所で火災予防上危険と思われることがあつたら、お互いに注意し合つて下さい。それが不都合なときは消防署（四三八番）へ連絡して下さるよう協力方を要望しています。

あなたの固定資産◇◇◇

◇◇◇評価額が変りました

固定資産課税臺帳　縦覧は二十日まで

固定資産税とは市が土地家屋及び機械設備（いわゆる償却資産）の価格（この価格は適正な時価とされている）を課税標準として、その所有者に対して課税する地方税です。

市では、それぞれの土地、家屋ごとの適正な時価を評価決定するわけですが、この評価は毎年行うものでなく、今年から三年ごとに行われることになつています。

この評価決定された価格の登載されている“固定資産課税台帳”が三月一日から、同月二十日まで毎日午前九時三十分から午後四時まで市役所財政課、支所区域の分は各支所において、それぞれ皆さんに縦覧していただくことになりました

この昭和三十三年度の評価額は、向う三ケ年、即ち昭和三十五年度まで据えおかれ、固定資産税の課税の基礎として使われますから この大事な時機を見逃がすことのないように、土地、家屋の所有者は期間中に課税台帳をごらん下さい。

もし、この台帳に登載された評価額その他について不服な点があれば、納税者は三月一日から、三月三十一日までの間に、市の固定資産評価審査委員会に対して審査の請求を行うことができます。（審査の請求は文書をもつて行わなければなりません。用紙は縦覧場所に備えてあります。）

“納税貯蓄組合”

楽な気持で納税を

国の、県の、そして市の、行政を行う原動力となるものは、なんといつても直接に、或は間接に私達が負担する税金で賄われます。私達が、この義務を果すことによつて、権利を主張し、秩序ある、そして明るい社会生活が営めるわけです。云つてみれば、納税の義務も、結局は私達自身のためのものであるといえます。当市の納税成積は、皆様の理解ある御協力のおかげで相当な実績を示し、市の諸施策の遂行に大きく役立つていることは御同慶に堪えません

“税金は納めなければならないもの”という気持はどなたも同じですが、しかし、現在のような経済状勢のもとではなかなか、まとまつた金額の支出は大変です。これは一つ税金に限らないことです。

なんとか無理なく納税できる方法がないものか？、こうした要求から生れたのが“納税貯蓄組合”です。

これは組合をつくり、それに加入することによつて、定期、不定期の、わずかづつの貯蓄で、難なく納税できる仕組になつています。また、納税貯蓄組合には国、県、市からの補助や、いろいろな特典がありますが、なんといつても税金の心配がなく、更にはこのような習慣を身につけることによつて、家計の持方も合理的になることで、正に一石三鳥ともいえると思います

そこで市では、三十二年度で、主として農業地域を対象に五〇組合を設立しましたが、その成積が極めてよく、既に百％完納となつた納税貯蓄組合は次のようになつています

▽上四羽出納税貯蓄組合　組合長　小畑千代三郎

▽杉沢納税貯蓄組合　組合長　武田桂助

▽大子内納税貯蓄組合　組合長斎藤七郎左エ門

▽本宮納税貯蓄組合　組合長　秋元喜右エ門

▽下川原納税貯蓄組合　組合長　秦　禱志

▽下四羽出納税貯蓄組合　組合長　小畑五郎蔵

▽中山納税貯蓄組合　組合長　糸屋由太郎

▽新地納税貯蓄組合　組合長　伊藤米松

この外、九〇％を越える組合が大多数で、今一息といつたところ。年度内には殆んど完納できるものとみています。

このため、市収入役室では三十三年度において、さらに市街地域を対象とした五〇組合を設立し、その健全な育成強化を図ることにしています

無理なく納税できるように皆んなで納税貯蓄組合をつくりましょう。

救援ありがとう

被災者十一世帯五十三名

二月六日午後一時、御坂属称東海林アパート（所有者小坂為三郎）が失火焼失し、越後昭三、東海林ナホ、斉藤米三郎、高瀬吉雄、下坂勇二、下総四郎、三沢富雄、武田徳太郎、大和金蔵、大西甚三郎、永井チヨ以上十一世帯五十三名が罹災されたので、市では即日「大館市罹災救助基金蓄積及び管理条例」に定める見舞金を交付するほか、関係方面に援助を要請するなど、救助に努力しましたが、同アパート居住者の中には生活保護法適用世帯七を含む低所得者がその大部分を占めているので、各方面から同情と救援の手が差しのべられ、被災者や関係者を感激させています。

御坂町内会、婦人会では早速拠出し、見舞金品の拠出を行うなど隣人愛に満ちた暖かい救援をおしまず、又、芋堀沢岱成田留吉白米二斗、明日新聞社手拭一二本、栄町畠山ユリ衣料三九点、新町高橋市造衣料四点、村上印刷所食器籠一一個、丸銀洋品店[illegible]手拭一一本、日赤秋田支部タオル二二本、斉藤呉服店手拭一一本、秋田市婦人会衣料一二〇点などの救助物資が寄せられたので、これらは六日、十日、十四日の三回に亘つて町内会役員、民生委員など立合のうえで、それぞれ配分を行い罹災者に喜ばれています

殊に成田留吉さんは満州からの引揚者、以前留吉さんの兄がこの町内の方々にお世話になつたことを恩義に感じ、まつ先に拠出し米として白米二斗をよせられたことなどは、同町内の方々を感動させています。

この火災に早速およせ頂いた多数の方々の御厚志に対し紙上を以て心から感謝とお礼を申上げます。

引揚者給付金　認定は四割弱

担保貸付希望の申出

三十二年四月から施行されています「引揚者給付金支給法」による、市の取扱、認定給付の状況は次のようになつています。（　）内は人員

受付四二八世帯（一二三九）内県世話課へ書類送付済のもの四〇五世帯（一一六八）、認定されたもの一五六世帯（四五五）、内給付金（国庫債券）の交付されたもの二八世帯（八四）で交付額（額面）百十五万三千円となつています。

受付数と送付数との差二三件は書類の不備（主として在外事実証明）によるものですが、送付数に対して認定された割合は現在四割に満たないので係では関係筋へ早急な処理方を要請しています。

認定者に対する国庫債券の交付は認定通知後約三〇―五〇日となつているので、認定された一二八世帯に対しては近々交付されることになりましよう。

また、引揚者遺族給付金については受付数一三〇件で内認定されたもの三〇件となつていますが、これに対する国庫債券は本月中には交付されるものとみています。

引揚者国庫債券の担保貸付について

引揚者及び遺族給付金は、国庫債券によつて給付されますが、これを担保にして次のような貸付制度がありますから債券受領者で借入を希望さる方は民生課へ申出て下さい。

「額面金額の九割未満、但し総額五万円以内」

貸付の優先順位　①厚生資金を借入し、返済未了者（厚生資金返済に充てる者）②生業資金として必要ある者。詳しくは民生課へお問合せ下さい。

公営住宅

簡耐で二四戸

市では住宅地の開発、不燃都市建設、不良住宅の改修などの目的をおり込んだ、住宅建設の特定計画を樹立、三十三年度から三ケ年計画で第二種簡易耐火構造、一棟六戸建一戸当十坪の公営住宅を、獅子ケ森住宅地開発をめざして同地への建設を図つておりましたが、関係筋との話合がまとまりましたので、とりあえず三十三年度において四棟二四戸の建設を行うことになりました。予定されている建設の位置は、昭和三十一年に建設した木造第一種、二種住宅六八戸の西側、この地域は西風が強く火災発生の際は延焼の危険があるので、防火壁といつた一役もかね、考えられているものです。建築費は国庫補助六分の四、県六分の一、市六分の一。

“第二次審査”　赤ちゃんコンクール

市ではさきに、乳児の集団検診を、五月五日に行われる全国赤ちゃんコンクール、大館市予選とかねて行いましたが、第一次予選をパスした健康優良赤ちゃんは七十六名もの多きを数え、関係者をよろこばせておりますが、市では第二次審査を来る十一、十二日の両日（午後一時から三時三十分まで）公立大館病院小児科で行い、その中から十五名までを大館市優良赤ちゃんとして決めることになりました。予選通過者にはそれぞれ第二次審査の日程等通知することになつていますから、ふるつて御出場下さい。

春の予防接種該当者

三月末から四、五、六月に亘つて実施される予防接種の該当者は次のとおりです 通知もれの場合がないと限りませんので予め知つておきましよう。

痘そう▼第一期＝三二年七月一日から同年十二月末までの出生者と同年一月一日から六月末の出生者で昨年秋接種しなかつた者。▼第二期＝四月小学校に入学する者で昨秋未接種者▼第三期＝三月小卒者で昨年未接種者

ジフテリヤ▼第一期＝三二年三月一日から八月末までの出生者と、三一年九月一日から三二年二月末までの出生者で昨年未接種者▼第二期＝四月小学入学者で昨年未接種者[illegible]三月小卒者で昨[illegible]

百日咳▼第一[illegible]六月一日から十[illegible]の出生者と、三[illegible]一日から三二年[illegible]での出生者で昨[illegible]▼第二期＝三一[illegible]から同年十一月[illegible]生者と、三十年[illegible]から三一年五月[illegible]生者で第一期を[illegible]未了者

腸チフス、パラチフス▼初回免疫＝二[illegible]日から同年十二[illegible]出生者と、三三[illegible]現在で満四才から[illegible]での者で初回免[illegible]ていない者▼追加[illegible]才までの初回免[illegible]

—⑩— は秋田県臨時人口調査（5月）昭和31，32年は住民登録人口（10月）他24，26，28各年については推計による。各調査とも客体把握の定義が異なるので実質的には比較に無理のあることを留意されたい。

年次別人口動態

（本表は届書の移送関係を調整したものである）

区分	昭24	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32
出生	1884	1787	1490	1787	1406	1279	1147	1061	1119
死亡	655	660	616	533	500	483	418	422	436
自然増加	1229	1127	874	1254	906	796	729	639	683
乳児死亡	181	177	157	117	101	87	61	47	59
死産	174	188	229	142	140	101	145	131	130
婚姻	626	499	431	490	528	467	471	484	532
離婚	82	72	74	73	56	75	63	55	68

下表は市の総世帯10019について，その居住住宅の種類及び所有関係について見たものである。ここでは住居の種別を①住宅，②寄宿舎，③下宿屋，④その他（非住宅）に分け，①の住宅については，更にその所有関係と利用畳数を調査している。従つてこの表から戸数を見る場合，住宅居住者計の世帯数から間借世帯を減ずれば，住宅戸数即ち住家としての建物数とみて大差ないものとなります。

住居の種類別世帯数及び利用畳数

（昭和30年国勢調査）

地区	持家		借家		間借		給与住宅		住宅居住者計		寄宿舎	下宿屋	その他	普通世帯	準世帯
	世帯数	畳数	世帯数	畳数	世帯数	畳数	世帯数	畳数	世帯数	畳数					
総数	7701	203388	856	11721	1025	10374	314	5494	9896	230977	8	2	113	10019	172
大館	3329	78358	748	10257	814	8241	200	3554	5091	100410	7	2	60	5160	148
釈迦内	984	24590	50	633	50	473	55	932	1139	26628	—	—	—	1139	6
長木	601	19345	13	170	13	114	23	424	650	20053	1	—	26	672	5
上川沿	436	12300	5	48	9	106	2	22	452	12476	—	—	2	454	—
下川沿	557	15284	5	42	14	126	5	84	581	15536	—	—	14	593	2
二井田	510	13737	4	33	2	12	2	16	518	13798	—	—	—	518	—
真中	390	11682	3	37	1	4	4	74	398	11797	—	—	—	398	—
十二所	894	28092	28	501	122	1298	23	388	1067	30279	—	—	11	1067	11